この一年間、私たち、(公社)日本建築家協会東海支部愛知地域会 住宅研究会では「造園」と「建築」の関係について考えを巡らしています。6月に庭木の生産現場を訪ねて「圃場見学」を開催し、7月には日本建築家協会近畿支部の企画する名古屋の白鳥庭園見学会に吉村元男先生の案内の下、参加してきました。今回、映画「動いている庭」の中でジル・クレマンのガイドを務められ、書籍「庭師と旅人」を出版されたエマニュエル・マレス氏を基調講演に迎え、「造園」と「建築」の関係を考えます。また、書籍「動いている庭」の帯文を書かれた造園家の田瀬理夫先生を迎え、お二方に対談、ディスカッションをして頂きます。

「造園」と「建築」の関係を考える。

－「動いている庭」とジル・クレマンについて －

映画鑑賞会+基調講演会・ディスカッション / 参加者募集

【講演者】
基調講演会　　：エマニュエル・マレス　（京都産業大学 文化学部 京都文化学科 准教授）
ディスカッション ：田瀬 理夫　　（造園家・株式会社プランタゴ代表）

【映画鑑賞会】映画「動いてる庭」鑑賞会　（冒頭解説 ＋ 本編85分）
［日時］ 令和3年　12月4日（土） 13：00～14：50　　オンライン方式

【基調講演会・ディスカッション】
［日時］ 令和3年　12月4日（土） 14：50～17：30　　オンライン方式

■スケジュール
13:00　映画「動いてる庭」鑑賞会
14:50　講演会
15:55　ディスカッション
16:55　意見交換会(質疑応答)
17:30　終了

【参加費】　1,000円 /人　※JIA会員外の一般も参加可能です。
※JIA愛知住宅研究会会員無料。学生無料。
※入金方法、振込先についてはgoogleフォームを参照ください。

【募集人数】　200名　※定員になり次第締切とさせていただきます。

【開催方法】　オンライン配信のみとします。※配信方法はzoomウェビナーを使用予定。

エマニュエル・マレス
1978年、フランス出身。京都工芸繊維大学博士後期課程修了、工学博士。専門は日本建築史・日本庭園史。
現在は京都産業大学文化学部准教授、奈良文化財研究所客員研究員。
日本庭園史学の研究を通して、日仏の文化の交流に尽力している。
主な著書に『縁側から庭へ』(あいり出版)、
編著に『庭師と旅人 「動いている庭」から「第三風景」へ』(あいり出版)、
『森蘊の世界ー奈良・平安の庭を求めて』(奈良文化財研究所)。
ドキュメンタリー映画《動いている庭》の企画・製作にも携わる。

田瀬理夫（たせ　みちお）
1949年東京都に生まれる。1973年千葉大学園芸学部造園学科(都市計画・造園史専攻)卒業後、富士植木勤務。1977年ワークショップ・プランタゴ開設。1978年～1986年　SUM建築研究所の一連の集合住宅プロジェクトに参加。1990年～プランタゴ代表。2009年～2018年農業法人ノース代表兼務。主な作品(ランドスケープ):「百合ヶ丘ヴィレッジ」「コートハウス国立」「アクロス福岡」「アクアマリンふくしま」「BIOSの丘」「地球のたまご」「日産先進技術開発センター」「5×緑」「味の素スタジアム西競技場」「クイーンズ・メドウ・カントリーハウス馬付住宅(馬100頭)プロジェクト」「里山住宅博in Kobe2016」「讃岐緑創」「神山町大埜地の集合住宅」ほか。

【 締切 12月2日（木）】　　※ＣＰＤ単位 4単位申請予定

申込方法　下記URLもしくはQRコードより申し込みください。
https://forms.gle/czLuNmvG8Ys3G2ut9

※個人情報について　個人情報は、本会に伴うご連絡のみに使用いたしますのでご了承ください。

主催：　（公社）日本建築家協会東海支部愛知地域会 住宅研究会
協賛：　株式会社 竹籐商店　　株式会社 イケガミ
【お問い合わせ先】　hdeskn@gmail.com　（西村/当日緊急連絡先：090-3459-5199）

J I A